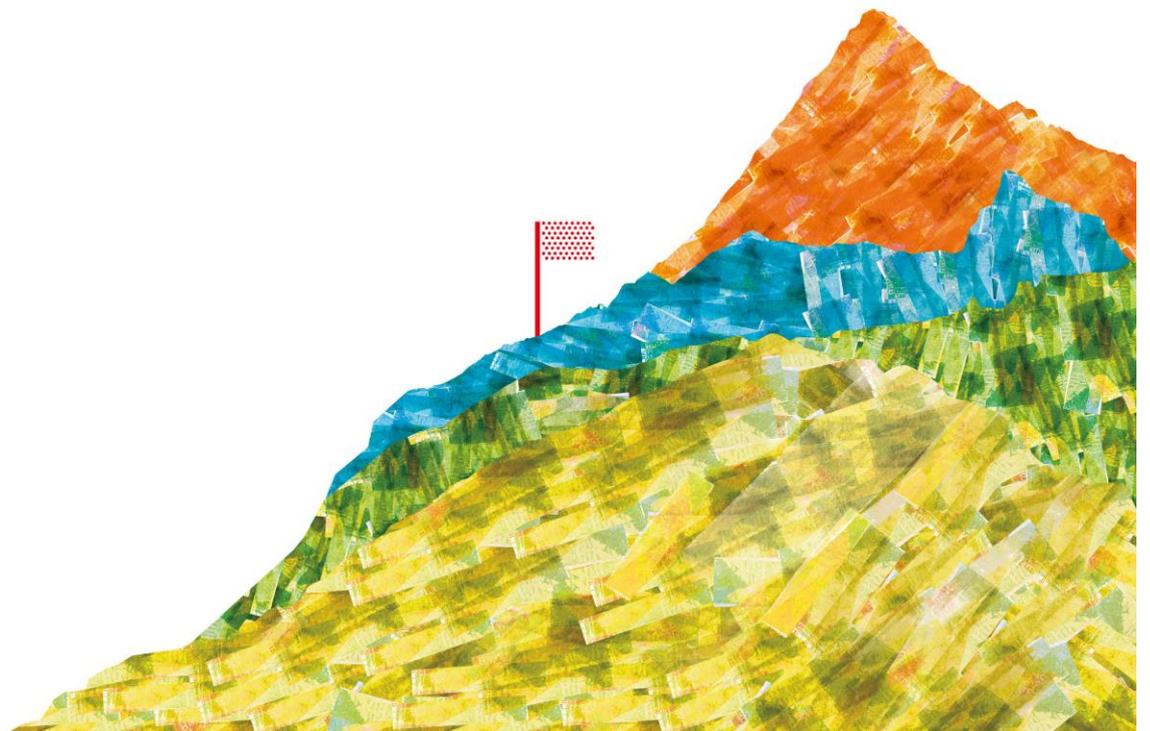


令和2年度 事業報告書

(なんぶエリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

令和2年度事業報告書（なんぶ エリア）

- 1 令和2年度総括（成果、反省等を簡単に）
 - 1) 新型コロナウイルスの感染対策として、ウイルスの侵入・接触を防ぐため導線の変更、感染対策グッズの備蓄など多面的な感染防止対策を行った。
 - 2) 上記の影響により地域活動や利用者を主体とした施設のイベントを大幅縮小せざるを得なかったが、各事業所・施設では芋の苗植え・収穫、一斉清掃活動など自然を楽しむ工夫を凝らした活動を行った。
 - 3) 数年来課題としてきた、高齢化の急伸している永江団地のコミュニティー活性化策について行政・住民と検討を重ね、県営住宅の高齢者見守り、学習支援（子ども食堂）、介護事業所開設に着手した。

- 2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））
 - 1) 介護予防日常生活総合事業「暖だんサポートごせんごく」を開設した（10月）
 - 2) 県営住宅永江団地に小規模多機能型居宅介護事業所の開設に向けて着手した。県との共同プロジェクトとしては初めての試みとして注目を浴びている。
 - 3) 永江地区において米子市に協力し、フレイル対策推進事業を継続実施した（2年目）
 - 4) 永江公民館や自治会と協同して小・中学生の学習支援事業を開始した（11月）

- 3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）
 - 1) 安定的な稼働率の維持に努めたものの、利用者によるサービスの選択肢が広がり、施設入所者の安定的確保は年々難しくなっており、稼働率の低下がみられる。
 - 2) しかし根幹となる質の高いサービスを提供維持するための学習活動を地道に行い、また環境変化に対応して地域的ニーズの高いデイサービスの重度化対応、予防事業・支援総合事業の住み分けを行った（高齢化率市内最高、要介護率市内最低）。
 - 3) 社会貢献を謳っている総合福祉施設ならではの、中長期を展望した事業の重点化・業務の効率化、コストパフォーマンスは継続的な課題として未解決の部分はまだ多い。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員（人）	令和2年度（%）	令和元年度（%）	平成30年度（%）
介護老人福祉施設	80	99.3	99.4	99.1
ユニット型介護老人福祉施設	24	99.1	99.1	99.0
介護老人保健施設	36	80.4	83.2	87.0
ユニット型介護老人保健施設	44	83.6	83.0	87.5

ケアハウス	50	96.9	98.7	98.4
グループホームなるみ	27	98.7	99.4	98.4
デイハウスごせんごく	29	84.3	93.0	93.9
デイハウスくずも	25	108.9	84.6	90.7
ビスターレごせんごく	10	98.0	98.7	95.8
生活支援ハウス	20	77.5	92.0	94.3

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<ul style="list-style-type: none"> ○供養会 ○運動会 ○紅葉見学 ○年忘れ会 ○長寿を祝う会 ○防災非難訓練 ○水難防災避難訓練 ○学習支援（永江公民館） ○除草作業 ○地域の方参加の防災訓練 ○さくら保育園とさつま芋つくり（なるみ）くずも秋祭り（DHくずも）
<p>エリア内研修状況</p> <p><u>延回数 161</u></p> <p><u>延べ人数 2,348 人</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用者 ○5つの基本とPCC ○防災(火災、水害) ○エルダー制度 ○キャリアパス ○口腔ケア ○排泄 ○リスク ○救急法 ○看取り ○接遇 ○嚥下 ○インターライ ○食事 ○認知症 ○表皮剥離 ○姿勢・褥瘡 ○手洗い ○ノーリフティング ○身体拘束・虐待 ○DCM ○法令順守・プライバシー ○労働災害 ○労務管理 ○食中毒 ○感染症 ○エルダー発表会 ○ISO ○施設設備 等
<p>エリア内会議、委員会活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○なんぶ幸朋苑エリア内調整会議 ○衛生委員会 ○職員会議 ○ISO委員会 ○入浴委員会 ○リスクマネジメント委員会 ○ケアプラン委員会 ○食事検討委員会 ○研修委員会 ○排泄検討委員会 ○地域交流委員会 ○褥瘡予防 ○感染予防対策委員会 ○なんぶ幸朋苑エリア看護師会 ○リーダー会 ○チーム会 ○在宅会議 ○ノーリフティング委員会 ○ケアカンファレンス会議（随時） ○苦情解決第三者委員会 ○ふれあいの橋の会 ○毎月なるみ通信発行（GH）
<p>委員会活動等の成果・実績・反省</p>	<p>○看護師会：褥瘡件数・感染症件数・薬関連事故の報告を毎月行い、対策を共有した。感染予防では、コロナウイルス関係の予防対策の周知と、年2回の手洗いチェッカー実施や感染症ラウンド(事業所巡回)にて感染対策と改善を確認した。地域貢献事業はコロナ禍にて開催が無く参加できなかった。薬関連では、9月より毎月「薬情報誌」を発行し啓発を行ったが誤薬件数の減少には繋がらなかった。</p>

- 在宅会議：在宅各サービス事業所責任者が情報共有・提供し地域包括ケアの基盤整理を実施（毎月）各サービスの稼働状況を共有し、自サービス以外の紹介により稼働率改善に繋がった。
また、利用者の動向や利用者の適正なニーズなどを把握しながら新しい通所サービスの機能分化を検討し、新規事業の立ち上げと共にデイケアの縮小を実施した。また新型コロナウイルス対策として在宅系と施設系事業所の導線を分離する為に事業所の移転作業等も実施した。
- なんぶ幸朋苑リスク委員会：ヒヤリ・事故についての検討（毎月）、エリアリスク委員を中心にエリア内の3レベル事故、服薬関連事故、ご意見報告について要因分析、再発防止策の有効性について検討を行った。対前年比：(転倒 105.4%)、(苦情 25%)、薬関連(56%)、表皮剥離(125%)。自立の利用者が自室内での転倒による骨折。職員の記録漏れや思い込み、作業的なダブルチェックなどから、薬関連の是正も多くみられた。手順の見直し、確実なチェック機能と合わせて、利用者の支援をしながらの慌ただしい中で服薬介助とならないように、業務の見直しや、ミスをしないうための意識や、異動職員への確実な引継ぎ等をしていくことで事故予防を図る必要がある。ご意見は、コロナ禍での面会禁止などの理由で、家族との信頼関係が作り難く、苦情につながるケースもみられた。
- エリア研修委員会：基礎研修はリーダー層が中心となって講師と努め指導できる中堅層の育成を図った。今年度も引き続き中堅層育成のために新たな講師を選出していく。月例研修では、口腔ケアを特化しシリーズ化とし実施。口腔ケアの知識・技術を基礎から学習し、食べる大切さや誤嚥性肺炎予防につながった。
- 苦情解決第三者委員会：第三者委員に対する定期報告・意見交換会を今年度は2回実施した。なんぶ幸朋苑エリアでの事故、ご意見について要因分析と継続的再発防止を共有し報告した。
- 地域交流委員会：新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ボランティア表彰について式典等は行わず、個別に来苑いただき表彰、意見交換会についてはボランティアアンケートを送付しご意見を頂いた。
ボランティアの受け入れについては、感染状況を確認しながら、感染対策を徹底し一部事業所で受け入れを実施するも前年に比べて来苑者数は大幅に減少となる。
- 通所事業所にてご利用者/ご家族向け注意喚起（転倒/インフルエンザ/脱水/ウイルス）お便り配布（4回/年）

6 人財状況

<p>外部研修等講師派遣実績</p>	<p>○米子高校2年『生活と福祉』 矢倉・作野・執行・富永 ○米子高校3年『記録の書き方、報告・連絡・相談』濱崎 ○米子高校1年『高齢者・車椅子体験』原・船本 ○米子高校1年「高齢者疑似体験」包括職員 ○米子高校3年『職務の理解』『学習到達振り返り』西岡 ○五千石小学校3年生「認知症・高齢者疑似体験」包括職員 ○成実小学校3年生「認知症絵本教室」包括職員 ○尚徳小学校3年生「認知症絵本教室」包括職員 ○鳥取大学医学部附属病院・在宅医療推進看護育成研修講師 『看取り研修:地域・在宅での死を考える』 武良 ○西部在宅ケア研究会世話人会 世話人 武良 ○鳥取大学医学部 臨床教授 武良 ○鳥取大学医学部附属病院 T-HOC 講師 武良 ○鳥取県西部地区心不全パス準備委員会 役員 武良 ○鳥取県訪問看護の質の向上を目指す研究会 役員 武良 ○YMCA 米子医療福祉専門学校 外部講師小谷・松本・射場・藤原 ○痰吸引研修・演習講師 10名 ○介護職員初任者研修 講師 11名 ○実務者研修 講師 17名 ○家族向け初任者研修 講師 9名</p>
<p>外部役職就任状況</p>	<p>○鳥取県介護ロボットのニーズ・シーズ連携強調協議会 委員 山中・原 ○鳥取大学医学部 臨床教授 武良 ○鳥取大学医学部附属病院 T-HOC 講師 武良 ○鳥取県西部地区心不全パス準備委員会 役員 武良 ○鳥取県訪問看護の質の向上を目指す研究会 役員 武良 ○日本認知症予防学会代議員 伊藤</p>
<p>外部表彰受賞状況</p>	<p>○県社協会長表彰(社会福祉施設功労者): 雑賀、花田、玉野、秦 ○米子市社協会長表彰(社会福祉施設功労者): 角、山川、今田、平山、生田、野田、門脇、後藤、渡邊、作野、福田、新竹、野坂、遠藤、岩田 ○鳥取県老人保健施設協会会長表彰: 武部、遠藤、篠木</p>

7 地域貢献実績(保育所含む)

<p>実習受け入れ実績 延人数 273人</p>	<p>○米子北高校 ○米子高校 ○米子南高校 ○境港総合技術高等学校 ○鳥取短期大学生生活学科食物学専攻(栄養士) ○YMCA 米子医療福祉専門学校(介護、PT、OT) ○初任者研修 ○実務者研修 ○鳥取県消防学校</p>
---	--

<p>ボランティア受け入れ実績 実人数 47人 延人数 154人</p>	<p>○脳トレ ○傾聴 ○習字 ○読み聞かせ ○喫茶 ○門松作り ○もちつき ○生活支援 ○ふれあいの橋の会</p>
<p>見学受け入れ実績 実人数 0人</p>	
<p>地域交流活動実績 1 実施回数 4回 延人数 100人</p>	<p>(事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業) ○支え愛カフェ永江 ○五千石相談カフェ ○サツマイモ苗植え サツマイモ芋ほり</p>
<p>地域交流活動実績 2 実施回数 回 延人数 人</p>	<p>(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの)</p>
<p>ボランティア・環境活動 参加実績 1 投入人数 95人</p>	<p>(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) ○奥谷一斉清掃 ○中海アダプトプログラム ○さくら保育園除草作業 ○米子市一斉清掃 ○なんぶ幸朋苑クリーン活動</p>
<p>ボランティア・環境活動 参加実績 2 投入人数 170人</p>	<p>(見守り活動・学校活動の手伝い等) ○成実小学校通学児童交通安全見守り(毎日)</p>
<p>地域発信活動実績(介護、 看護の日、イベント開催 等)</p>	<p>○学習支援事業(永江公民館)にて尚徳小学校 5名 尚徳中学校 14名 高校生 2名の計 21名を対象に島根大学生を講師として11月~12月毎週 土曜日開催。</p>
<p>地域発信活動実績(認知症 サポーター養成講座)</p>	<p>○特養では生活の様子を新聞形式で公民館や学校などに掲載した。 その他は新型コロナ感染防止のため開催出来ず。</p>
<p>地域発信活動実績 (講習 会、講演会の主催及び参加等)</p>	<p>○永江やってみらいや塾 ○五千石やってみらいや塾 ○成実やってみらいや塾 ○グリーンハイツサロン ○新山サロン ○石井サロン ○榎原サロン ○奈喜良サロン ○福市ビタミンサロン ○八幡サロン ○五千石カフェ ○担当エリア 4地区合同体力測定会(南部体育館) ○尚徳地域介護医療ケアカフェ(薬剤師・サービス事業所・居宅・クリ ニック看護師・包括) ○自立支援型ケア会議(専門職・リハビリ PT, OT, ST, 管理栄養士・薬 剤師・居宅・包括) ○ショッピングリハビリ ○石井地区 後期高齢者口腔モデル事業</p>

	<ul style="list-style-type: none">○新規事業～永江フレイルモデル事業2年目○永江県営住宅見守り活動○「永江を考える会」県、市、住民、こうほうえん、包括参加
--	--



社会福祉法人 こうほうえん

令和3年6月24日

社会福祉法人こうほうえん

〒684-0063 鳥取県境港市誠道町 2083 番地

法人本部事務局

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 1400

TEL (0859) 24-3111 FAX (0859) 24-3113
